

保護者様

令和3年10月29日
横浜市立一本松小学校
校長 高桑 透

令和3年度 全国学力・学習状況調査
本校の結果と指導の改善策

今春、全国の6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が届きましたので、その概要をお知らせします。本分析結果をもとに、今後の指導改善に取り組んでまいります。引き続き、皆様のご理解・ご支援をお願い申し上げます。

1 調査結果概況

- ・調査結果においては、全国の平均正答率と比べ、高いか同等の状況です。
- ・算数において、全国の平均正答率に比べ6ポイント高い状況が見られました。

【平均正答率（％）】

| | 国語 | 算数 |
|-------------|----|----|
| 本校 | 65 | 76 |
| 全国との差 | ±0 | +6 |
| 神奈川県（公立小学校） | 63 | 70 |
| 全国（公立小学校） | 65 | 70 |

2 全国正答率との比較において顕著だった問題およびその結果を踏まえた指導の改善策

<国語>

全 14 問中 8 問で全国の平均正答率を上回っているものの、文章の要約や、漢字を正しく書くことについて課題があることが明らかになりました。

全国平均を上回った主な問題

- ・文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する（+11 ポイント）
- ・資料を用いた目的を理解する（+8 ポイント）
- ・自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える（+5 ポイント）

全国平均を下回った主な問題

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う
「つみ重ね」（-10 ポイント） 「げんいん」（-4 ポイント）
- ・文の中における修飾と被修飾との関係を捉える（-7 ポイント）
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する（-5 ポイント）

「目的や意図に応じて資料を選択したり、それを用いて話したりする」「筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考える」「事実と感想・意見などとの関係をおさえ文章全体の構成を捉える」といった問いにおいて 8 割以上の正答率でした。これらから、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力や自分の立場・意見と他者の意図や根拠を比較しながら捉える力が身に付いていることが伺えます。一方で、把握した内容を要約する問題の正答率は 25% であり、一定の条件下で文章の内容を短くまとめることに課題が見られました。また、漢字の書きについては正答率にばらつきがあるものの、3 問中 2 問で全国平均を下回っており、中でも「積み重ね」の本校正答率は 44% でした。これまでも小テストや漢字検定などを通して繰り返し練習する機会を設けておりますが、日常生活の中で適切に使うことができるようになるために、指導の一層の工夫が必要であることが明らかになりました。

<改善策>

- 目的を意識して、教材文中の主語や繰り返し使われている言葉などのキーワードに線を引いたり、それを用いて字数制限などの条件下で要約文を書いたりする機会を設ける。
- 日常生活の中で漢字を適切に使うことができるようになるために、従来の小テストや漢字検定などの機会に加えて、文章を書く際に辞書などを用いて調べたり、活用したりする場面を大切にする。

<算数>

全 16 問中 14 問で全国の平均正答率を上回っています。

全国平均を上回った主な問題

- ・二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを式や言葉を用いて記述する（+16 ポイント）
- ・複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べる（+14 ポイント）
- ・速さを求める除法の式と商の意味を理解する（+10 ポイント）
- ・データを二次元の表に分類整理する（+9 ポイント）
- ・集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきか判断する（+9 ポイント）

全国平均を下回った問題

- ・三角形の面積の求め方についてを理解する（-5 ポイント）
- ・条件に合う時刻を求める（-4 ポイント）

本校では子ども一人ひとりが自信をもって課題に取り組むことができるよう、少人数制による算数科学習を実施しております。「算数の学習は好きですか」という問いに「当てはまらない」と回答した割合は全国 14% に対して本校 5% という結果でした。少人数制学習は、算数学習への前向きな子どもの姿を支える大きな要因になっていると言えそうです。今後も引き続き、少人数制学習を通して基礎的・基本的な事項の定着に努めていきます。併せて、身に付けた知識を活用することができるよう、見通しをもち、筋道を立てて考える場面や、考え方・解決方法を説明する場面も大切にしていきます。

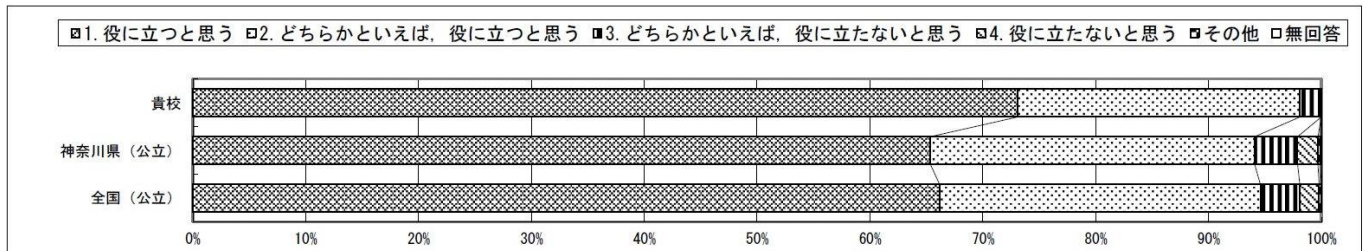
<継続して取り組む内容>

- 基礎的・基本的な計算の技能の確実な定着を図るために、スキルタイムなどの時間を活用し、当該学年以前の学習内容にも繰り返し取り組む機会をもつようにする。
- 問題を解決した後、数値や形などの条件を変えて発展的に考察する活動を設けたり、数値や形などの条件の異同を確認し、見出した考えをどのように活用していくかを話し合う場を設けたりする。
- 日常生活で、算数で学んだ知識を活用して問題を解決する場面を設定することにより、一層理解を深めることができるようにする。

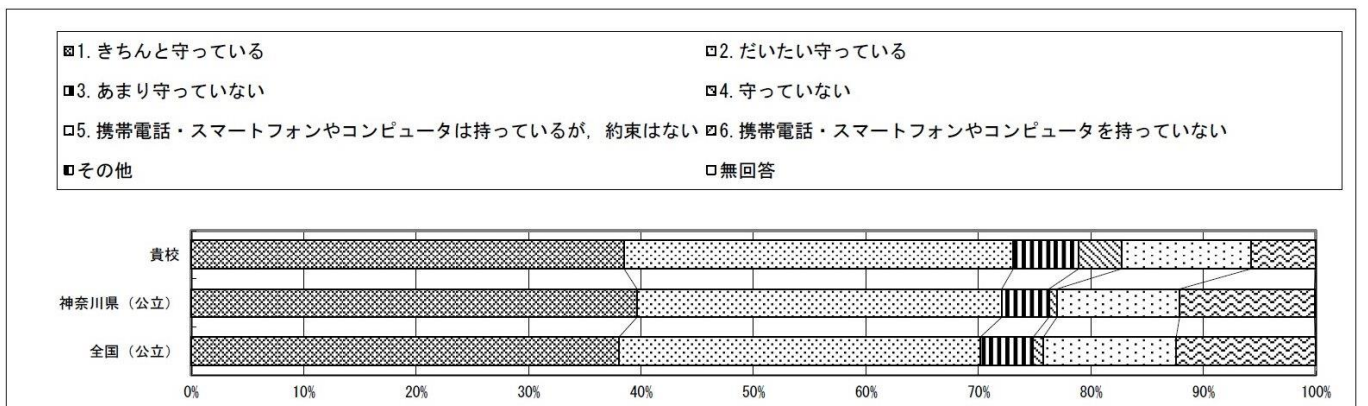
3 生活習慣や学習習慣に関する調査（質問紙調査）結果

今年度の調査結果のうち特徴的なものを取り上げています。

| 質問番号 | 質問事項 | | | | | | | | | | |
|----------|---------------------------------------|------|-----|-----|---|---|---|---|---|-----|-----|
| (28) | 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか | | | | | | | | | | |
| 選択肢 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | その他 | 無回答 |
| 貴校 | 73.1 | 25.0 | 1.9 | 0.0 | | | | | | 0.0 | 0.0 |
| 神奈川県（公立） | 65.3 | 28.7 | 3.8 | 1.8 | | | | | | 0.2 | 0.1 |
| 全国（公立） | 66.1 | 28.4 | 3.5 | 1.7 | | | | | | 0.2 | 0.0 |



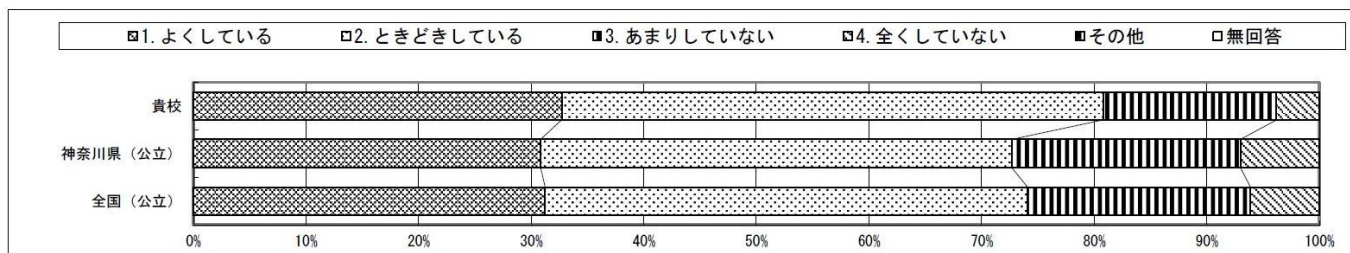
| 質問番号 | 質問事項 | | | | | | | | | | |
|----------|--|------|-----|-----|------|------|---|---|---|-----|-----|
| (4) | 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか | | | | | | | | | | |
| 選択肢 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | その他 | 無回答 |
| 貴校 | 38.5 | 34.6 | 5.8 | 3.8 | 11.5 | 5.8 | | | | 0.0 | 0.0 |
| 神奈川県（公立） | 39.6 | 32.4 | 4.2 | 0.7 | 10.9 | 12.0 | | | | 0.0 | 0.1 |
| 全国（公立） | 38.0 | 32.1 | 4.7 | 0.9 | 11.8 | 12.4 | | | | 0.0 | 0.0 |



本校の子どもの98%がICT機器の使用が勉強に役立つと考えています。学校でも一人一台端末の実現により日常的にタブレット端末を学習に用いています。一方、携帯電話・スマートフォンやコンピュータといった情報端末の使い方についての家庭での約束について、およそ2割が「あまり守っていない」「守っていない」「約束はない」を選択しています。

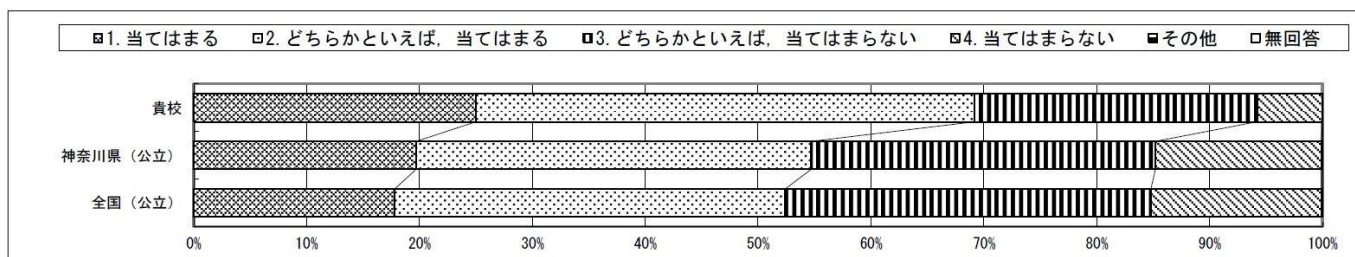
情報端末はとても便利で、現代社会において欠かせない道具になりつつあります。だからこそ、子どもには正しい使い方を教える必要があります。学校でも指導を行っておりますが、ご家庭におかれましても定期的に携帯電話などの情報端末やインターネットの使い方・ルールについての話し合いをお願いします。

| 質問番号 | 質問事項 | | | | | | | | | | |
|----------|--------------------------------------|------|------|-----|---|---|---|---|---|-----|-----|
| (17) | 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む） | | | | | | | | | | |
| 選択肢 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | その他 | 無回答 |
| 貴校 | 32.7 | 48.1 | 15.4 | 3.8 | | | | | | 0.0 | 0.0 |
| 神奈川県（公立） | 30.8 | 41.8 | 20.3 | 7.0 | | | | | | 0.0 | 0.0 |
| 全国（公立） | 31.2 | 42.8 | 19.8 | 6.1 | | | | | | 0.0 | 0.0 |



前回調査に比べて「よくしている」（+6ポイント）「とどきしている」（+7ポイント）と本校児童の数値がアップしています。これは、取組4年目に入った「自主学习」の定着が要因の一つとして考えられます。なお、本調査は5月に実施されたものなので、9月の分散登校による家庭学習を経験した現在は、さらに意識が高まっているのではないかと考えられます。

| 質問番号 | 質問事項 | | | | | | | | | | |
|----------|---------------------------------|------|------|------|---|---|---|---|---|-----|-----|
| (25) | 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか | | | | | | | | | | |
| 選択肢 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | その他 | 無回答 |
| 貴校 | 25.0 | 44.2 | 25.0 | 5.8 | | | | | | 0.0 | 0.0 |
| 神奈川県（公立） | 19.7 | 35.0 | 30.5 | 14.7 | | | | | | 0.0 | 0.1 |
| 全国（公立） | 17.8 | 34.6 | 32.4 | 15.1 | | | | | | 0.0 | 0.1 |



新型コロナウイルスの流行により、以前に比べて地域と関わる機会が激減しましたが、本校の子どもは、過去に経験した地域行事や一本まつりなどを通して、地域との関係性を深めてきたことが今回の結果につながったと考えられます。

このようなときだからこそ、自分の住んでいる地域に愛着をもつことのできる子ども、様々な事柄に興味を示し、進んで「ひと」「もの」「こと」と関わろうとする子どもを育成していきたいと思っております。そのためには、子どもを取り巻く大人が手を取り合い、応援していく環境が求められます。引き続きご協力のほどお願い申し上げます。